

人と自然を大切にするみちづくり



歩行者が安全に通行できる道路の割合は？

歩道設置率

(歩道設置率 = 歩道設置延長 / 全道路延長 (県道以上))
 県道以上の総延長に対する歩道設置延長の割合。

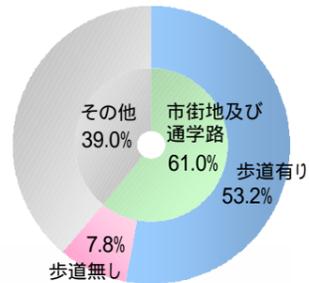


現状の課題と対応

市街地や通学路における歩道の設置状況

直轄国道のうち、市街地及び通学路として利用されている区間は61%であり、そのうち約9割で歩道が設置されています。

しかし、岩国市周辺や山陽小野田市、下関市等では、歩道が設置されていない区間が多く存在しており、安全に通行できるよう、歩道の整備を進める必要があります。



市街地や通学路の歩道設置率



出典: 国土交通省 山口河川 国道事務所資料

市街地や通学路における歩道の設置状況(直轄国道)

通学路等における歩道整備

市街地や通学路等の歩道整備の必要性の高い区間から効果的な歩道整備を進めています。

代表整備箇所「県道光玖珂線(玖珂郡周東町千束)」

通学する児童・生徒と通勤車両等が交錯し危険なため、安心して通学できるように歩道の整備を進めています。



代表整備箇所「県道山口阿知須宇部線(山口市阿知須町浜区~宇部市東岐波)」

山口市阿知須地区の中心市街地で、駅、郵便局、病院、学校、養護施設等があり、多くの市民が利用していますが、歩道が未整備で、歩行者と一般車両が輻輳し、非常に危険なため、安心して歩行できるように歩道の整備を進めています。



代表整備箇所「県道長門油谷(長門市日置上)」

沿線の学校施設へ通学する児童及び、福祉施設の利用者等と一般車両が交錯し危険なため、安心して通学できるように歩道の整備を進めています。



トピックス

『歩行空間のバリアフリー化への取り組み』

旅客施設周辺の歩道のバリアフリー整備状況

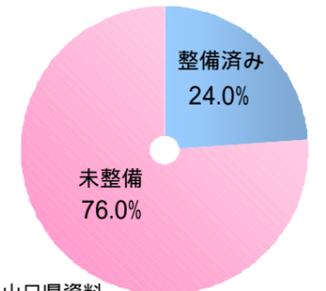
山口県内の主要な旅客施設周辺の歩道ネットワークのうち、バリアフリー整備が行われているのは24%です。

不特定多数の人が利用する旅客施設周辺では、ユニバーサルデザインにもとづく歩道空間のバリアフリー化が今後の課題となっています。

平成17年度は、JR徳山駅周辺の整備により、整備率30%を目指しています。

まだまだ低い整備状況で、今後も引き続きバリアフリー整備に取り組んでいきます。

主要な旅客施設...下関駅、幡生駅、新下関駅、長府駅、徳山駅、防府駅、岩国駅、柳井駅、新山口駅、菊川町バスターミナル



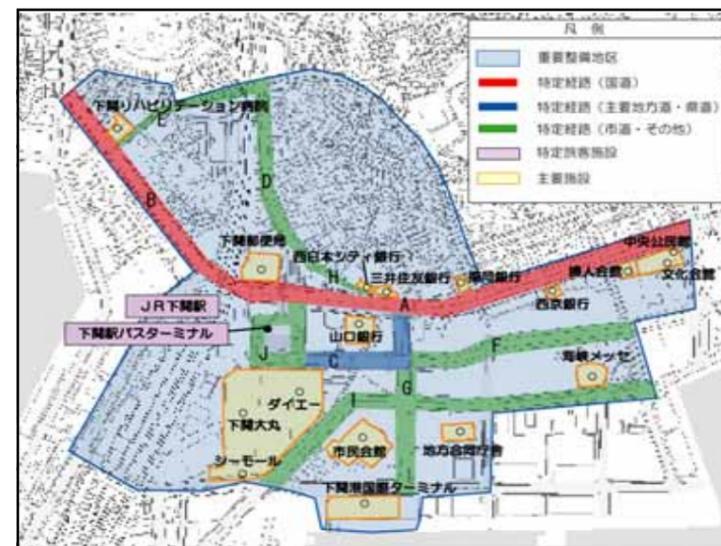
出典: 山口県資料
 主要な旅客施設周辺のバリアフリー整備率

主要な旅客施設周辺のバリアフリー化整備

主要な旅客施設周辺の歩道ネットワークについて、段差や勾配の緩和、視覚障害者用ブロックの設置など、歩道のバリアフリー整備を進めています。現在、下関市内の3つの地域で交通バリアフリー法に基づく重点整備地区が指定されており、重点的なバリアフリー整備を行っています。

「下関市交通バリアフリー基本構想(下関駅周辺地区)」

交通バリアフリー法に基づき、JR下関駅周辺地区におけるバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するための基本構想を、身体障害者の方とも一緒に現地点検を実施し様々な意見を反映し、策定しています。これに基づき、公共交通事業者、道路管理者、公安委員会が連携し、重点整備地区内の特定旅客施設や特定経路等のバリアフリー化を進めています。



出典: 下関市交通バリアフリー基本構想

特定経路

- | | |
|-------------|-------------|
| A 国道9号 | F 市道竹崎・細江線 |
| B 国道191号 | G 市道竹崎線 |
| C 県道下関停車場線 | H 市道竹崎町28号線 |
| D 市道下関駅・東駅線 | I 細江臨港道路 |
| E 市道茶山・竹崎線 | J 駅前広場 |

特定経路における整備内容

- 歩道設置、歩車分離、段差・勾配・凹凸の改修
- グレーチングや車止めの改良
- 視覚障害者誘導用ブロックの設置・改良



誘導用ブロックの現地点検